

た。

2. 障害等級の問題点について述べた。

参考文献

- 1) 加茂隆康：交通事故賠償。中央新書 1992.
- 2) 宮尾一郎：交通事故 後遺障害等級獲得マニュアル。かもがわ出版 2005

ほっと ぷらざ

視線

米国の心理学者、メラヴィアンはコミュニケーションで相手に伝わる情報量を100%とすると、言葉のみで伝わるのは7%、38%が話し方で、55%が表情やしぐさであると述べています。

元全日本のサッカー監督オフトは「アイコンタクト」を練習の課題にしていました。視線を合わせるの、大きな「認める」という行為です。相手がそこに存在する。あなたがそこにいることをちゃんと意識していますよ、というメッセージです。

電子カルテが導入され相手の目を凝視するのが苦手な我々の視線はますます患者さんから離れていないでしょうか？アイコンタクトでは視線の高さとポジショニングがポイントだそうです。

札幌徳洲会病院 森 利 光